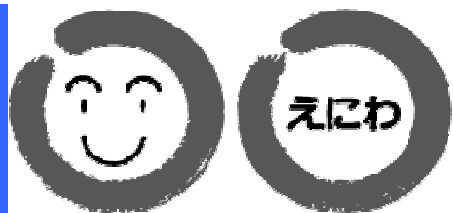
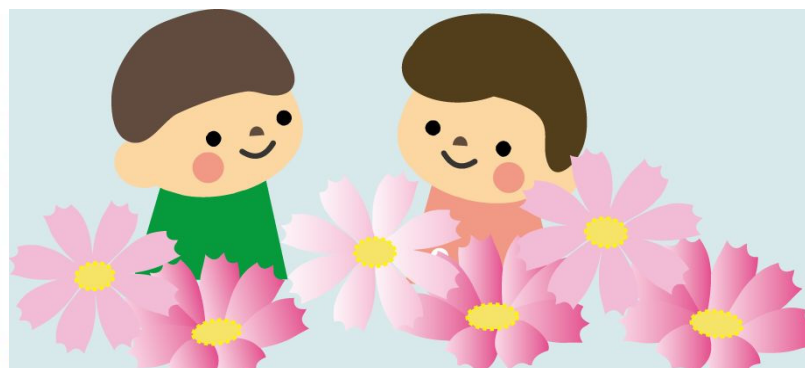


平成22年度決算
(2011.10公表)



わたしのまちの財政状況

<決算の概要・主な事業>



《平成22年度 恵庭市の決算》

はじめに



★ 登場人物 ★
名前は「えにわ・花子さん」です。
(ふるさと納税推進キャラクター)

恵庭市は、市民参加の行政「協働のまちづくり」を進めています。そうしたまちづくりのために、行政は積極的な情報開示により行政の透明性を高めつつ、市民との情報共有を図らなければなりません。市の予算や決算などの「まちの台所事情」も、そうした大切な情報のひとつです。

しかしながら、専門用語を並びたてがちな行政。ましてや、財政のこととなると規模が大きすぎてわかりづらくなってしまいます。

そこで、今年度から恵庭市に採用となった職員の日線により、疑問に思うことを中心とした情報共有を目指すこととし、できるだけわかりやすい形にまとめたものが、このたび公表する「わたしのまちの財政状況」です。

そして、市民のみなさまとこうした情報を共有し手を携えながら、共に描いたまちの将来像をめざし、多くの希望を実現していきたいと考えています。

「できるだけわかりやすい資料にしたい」という思いで作成した資料ですが、まだまだ不十分とも感じています。お知りになりたい情報もれているかもしれません。これからも、市民のみなさまからのご意見をいただきながら、より理解が深まる資料としていきたいと思えます。



★ 登場人物 ★
名前は「えにわん」です。
(恵庭市移住促進キャラクター)

★ 登場人物 ★
ふれあい一家。
(花さんとなかよしの一家。総合計画後期基本計画のPR版に登場)



ふれあい育男

お父さんの年取は300万円。年齢は42歳。



ふれあい恵美

お母さんは永遠の20歳。仕事はしていない。



ふれあい げんき

小学校3年生の男の子。毎日サッカーでド'ド'ロ。

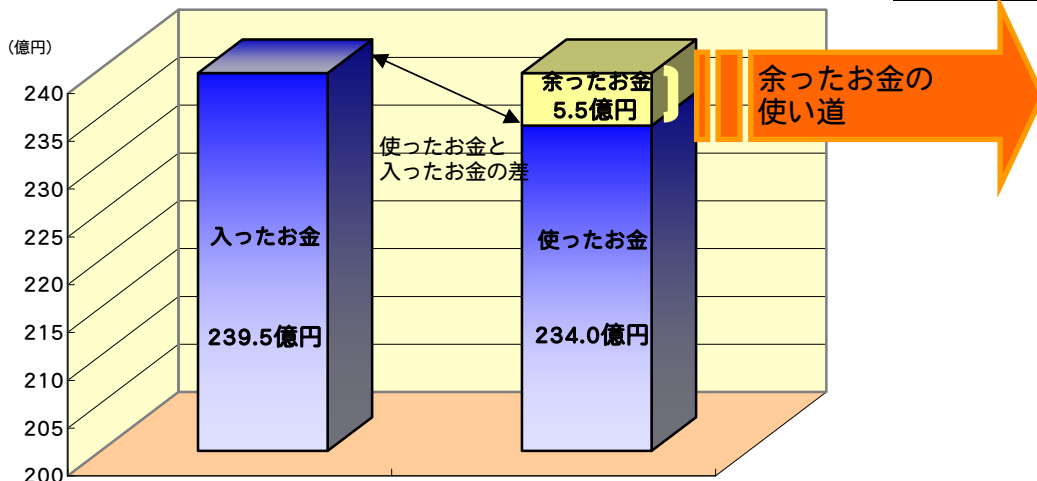
目次

1. 収支の状況についての不思議・・・01
2. 使ったお金についての不思議・・・02
3. 入ったお金についての不思議・・・03
4. 私の納めた税金などについての不思議・・・04
5. 貯金についての不思議・・・05
6. 借金についての不思議・・・06
7. 恵庭市の台所事情についての不思議・・・07
8. 平成22年度主な仕事の内容・・・08

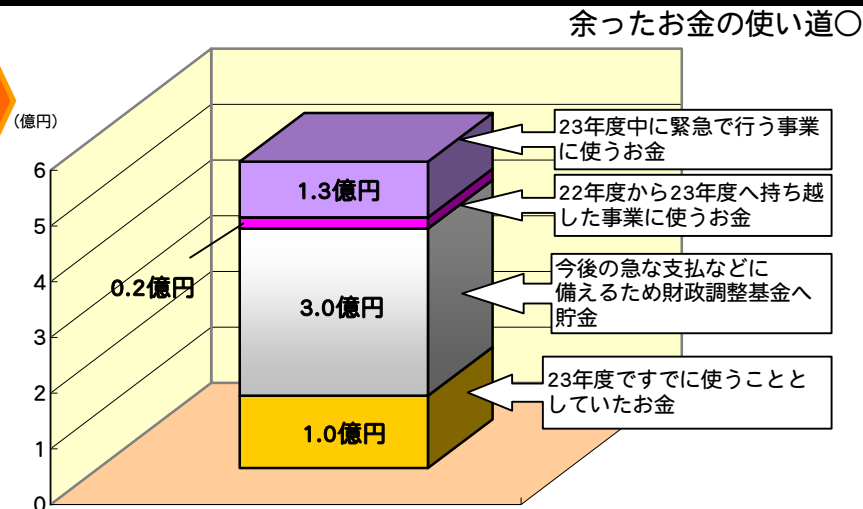
1. 収支の状況についての不思議

Q1-1. 平成22年度決算は、黒字だったの？赤字だったの？

○平成22年度決算収支の状況

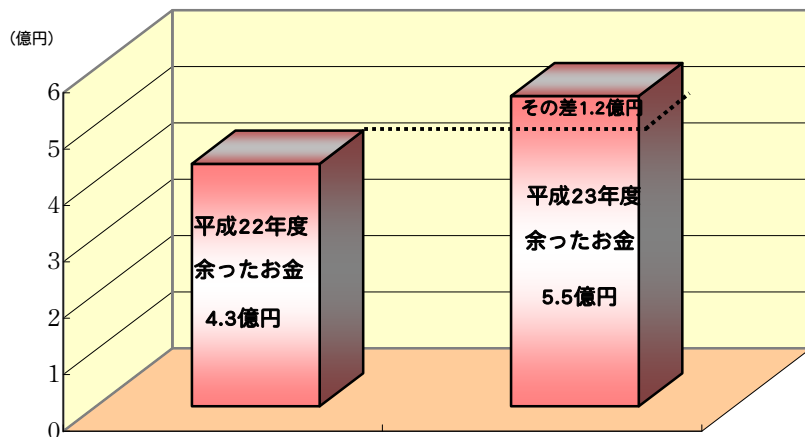


Q1-2. 余ったお金はどうするの？



Q1-3. かなりのお金が余ったの？

決算剰余金年度間比較



決算剰余金が1.2億円増えているね。
1.2億円と聞くと、多いように思うけど、
全体のお金239.5億円から考えると
0.5%なのね。
それでも、平成22年度は、貯金を
崩したりすることがなかったので、
健全な財政運営の方向に
向かっているわ。

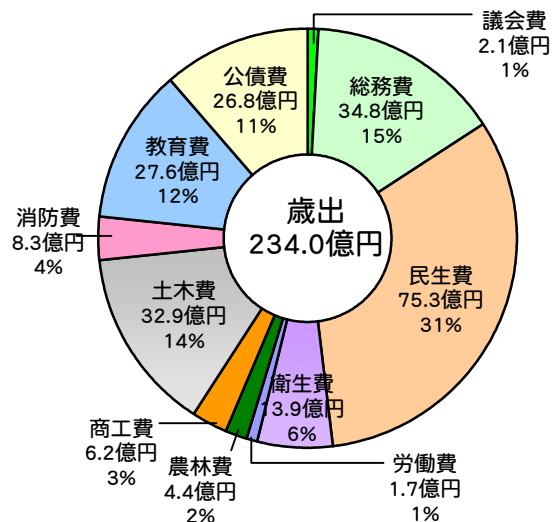


花子さんの
ひとこと解説

2. 使ったお金についての不思議

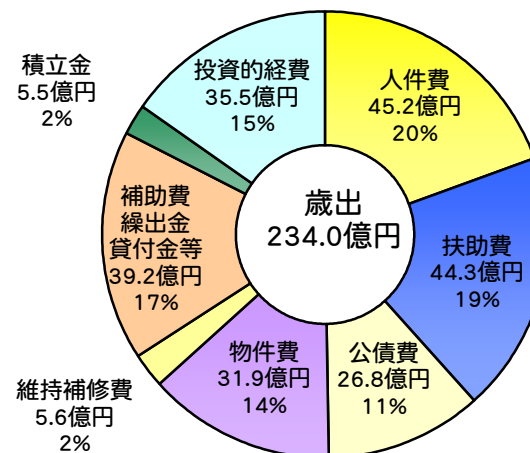
Q2-1. どんな目的で、どれぐらいの額使ったの？

○平成22年度目的別歳出の状況

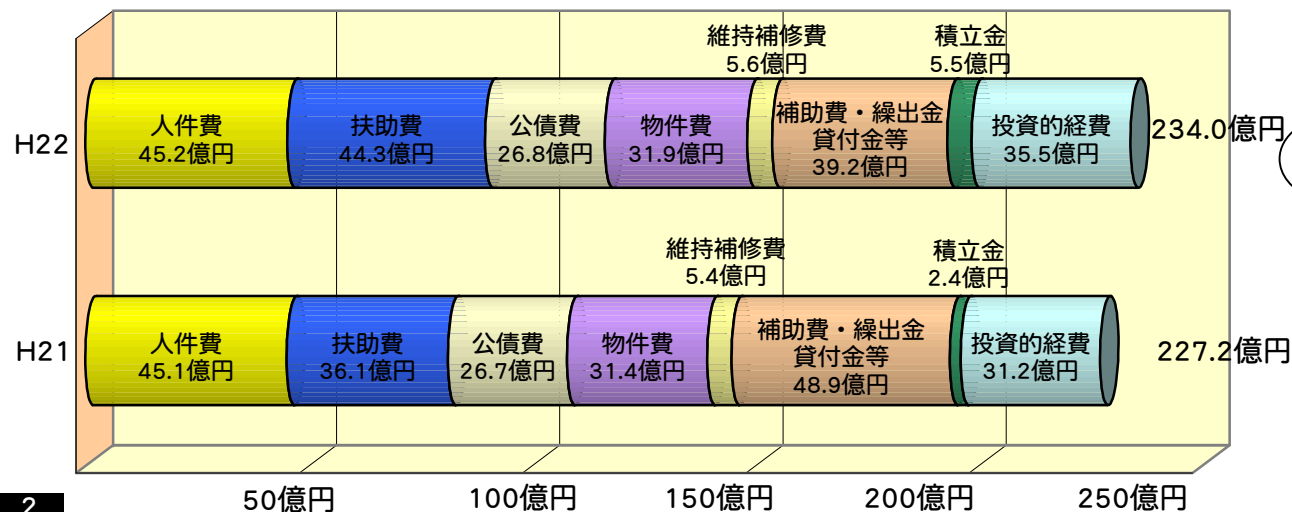


Q2-2. どんなことに対して、どれぐらいの額使ったの？

○平成22年度性質別歳出の状況



Q2-3. 昨年とくらべて多く使ったの？



平成22年度から子ども手当の給付が始まったので、補助費が増えているのね。平成21年度の補助費が多いのは、定額給付金があったからよ。

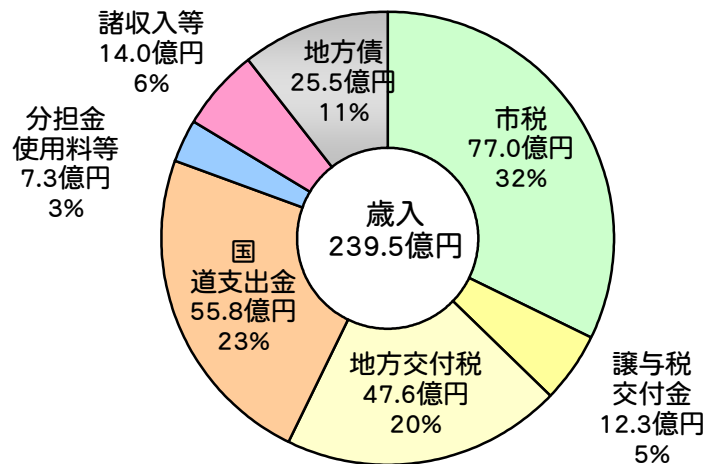
❁花子さんの
ひとこと解説



3. 入ったお金についての不思議

Q3-1. どんな収入があって、どれぐらいの額なの？

○平成22年度歳入の状況

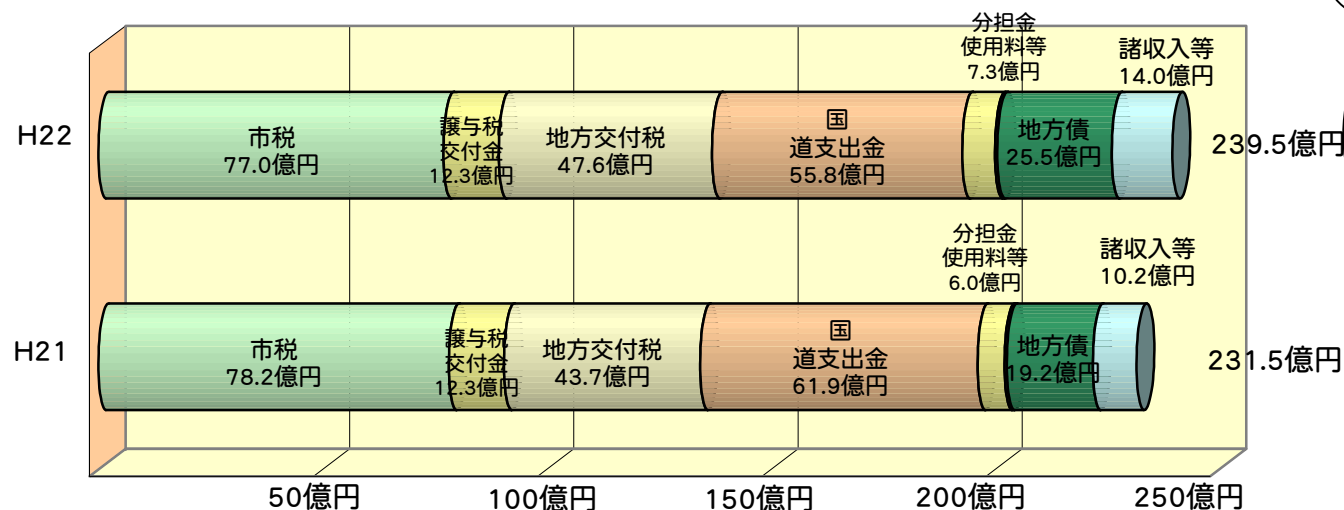


Q3-2. 市に納める税金はなんの税金なの？

(単位：千円)

項目	H22収入済額	主な内容
個人市民税 (均等割)	90,043千円	年額3,000円
個人市民税 (所得割)	2,706,123千円	(前年中の総所得金額等 - 所得控除額) × 税率6%
法人市民税 (均等割)	187,695千円	1号法人 (年額60,000円) ~ 9号法人 (3,600,000円)
法人市民税 (法人割)	318,442千円	課税標準 × 税率 (14.7%) - 税額控除
固定資産税 (土地)	892,862千円	課税標準 (土地など) × 税率 (1.4%)
固定資産税 (家屋)	1,793,073千円	課税標準 (住居など) × 税率 (1.4%)
固定資産税 (償却資産)	538,646千円	課税標準 (企業の機械など) × 税率 (1.4%)
軽自動車税	95,153千円	四輪乗用 (自家用) で年額7,200円
たばこ税	438,379千円	旧3級品以外のたばこ (マイルドセブン等) 1000本につき4,618円
鉱産税	0千円	課税標準 × 税率 (1%)
入湯税	2,078千円	一人一日の入湯行為 100円 一人一泊の入湯行為 150円
都市計画税 (土地)	235,566千円	課税標準 (土地など) × 税率 (0.3%)
都市計画税 (家屋)	368,285千円	課税標準 (住居など) × 税率 (0.3%)

Q3-3. 昨年度とくらべて多く入ったの？



＊花子さんの
ひとこと解説



平成22年度から家庭ごみの有料化が始まったので、使用料等が増えているのよ。
 平成21年度の国の支出金が多いのは、定額給付金があったからなのよ。
 地方債が増えているのは、臨時財政対策債といって、国から交付される交付税の財源不足を国と地方で折半して借入を行っているものが増えたからよ。
 臨時財政対策債を返すお金は、後々国が全て負担してくれるから安心よ。

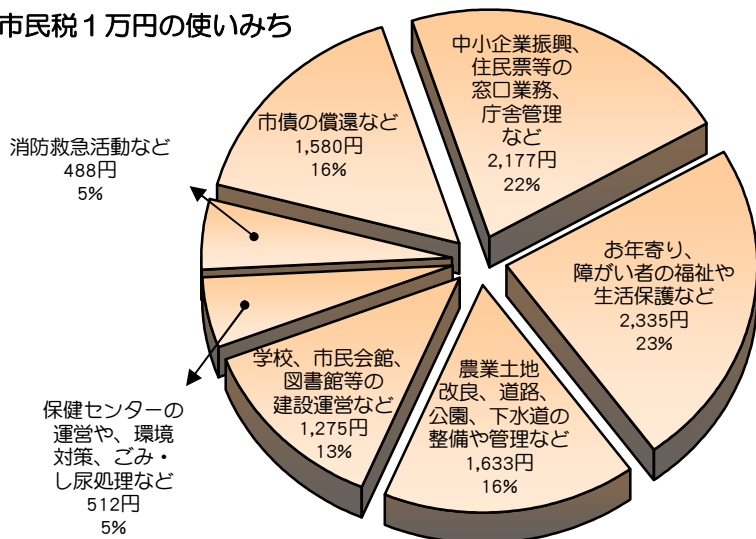
4. 私の納めた税金などについての不思議

花子さんの
ひとこと解説



Q4-1. 私の納めた税金はどこいったの？

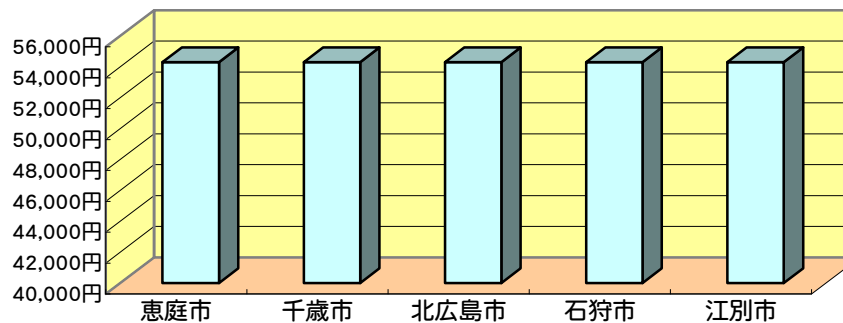
○市民税1万円の使いみち



税金は、まちのすべての人や分野に使われているのね。だから、どんなことに税金を使ってほしいのか、今、何をしなければいけないのか、市民であるみんなも行政と一緒に考えてほしいわ。そんなまちづくりができれば、もっといいまちにしていけると思うわ。

Q4-2. 恵庭の税金は高いの？

○ふれあい一家の場合の市民税

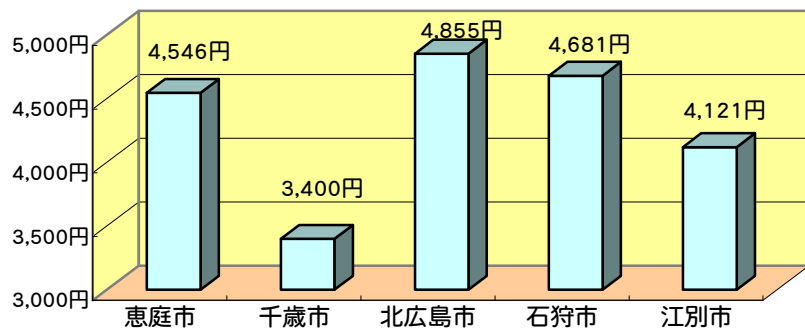


控除の計算も税率も同じだから、どこに住んでいても市民税は年額54,300円で同じなんだわん！



Q4-3. 恵庭の公共料金は高いの？

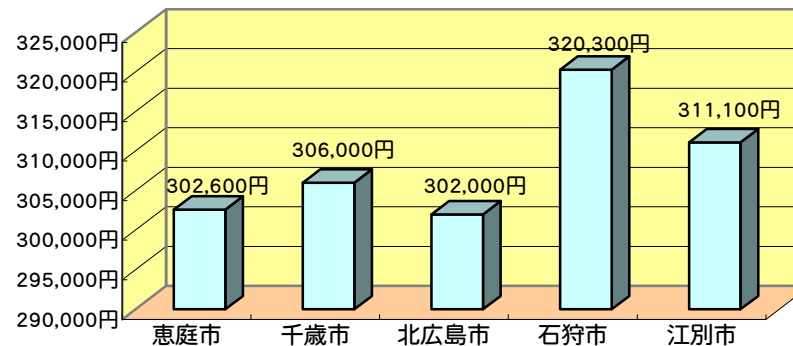
○げんき君の洗濯が大変なふれあい一家の上下水道料金



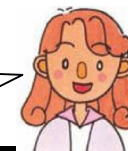
お隣の千歳市は群を抜いて安いけど、恵庭市も高いほうではないんだね。

Q4-4. 恵庭の国民健康保険税は高いの？

○ふれあい一家の場合の国民健康保険税



隣り合ってる北広島市と千歳市とあまり変わらないのね。



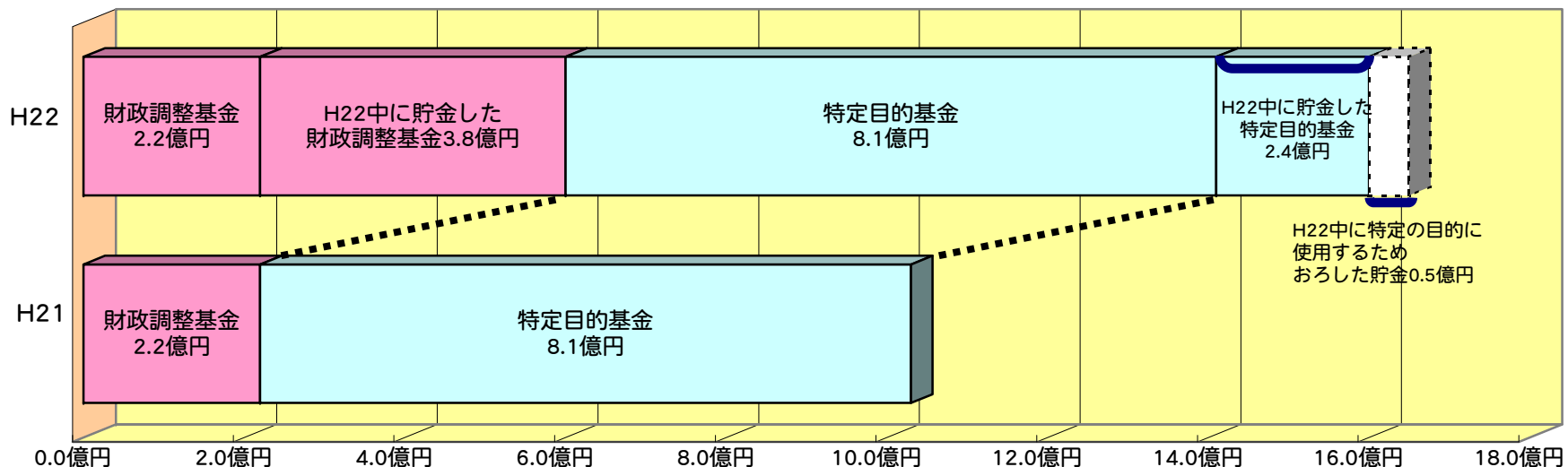
5. 貯金についての不思議

えにわんの用語解説
 財政調整基金とは、年度間の財源を調整するために積み立てる基金だわん。
 特定目的基金とは、特定の目的に使用するために積み立てる基金だわん。



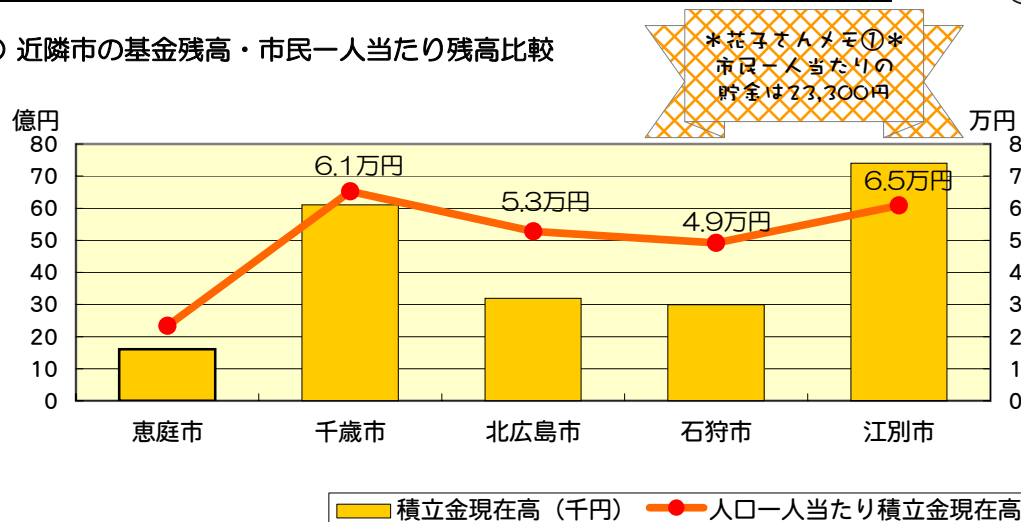
Q5-1. 貯金はどのくらいあって、昨年とくらべて増えたの？

○ 恵庭市基金残高年度間比較



Q5-2. ほかのまちより貯金がないの？

○ 近隣市の基金残高・市民一人当たり残高比較



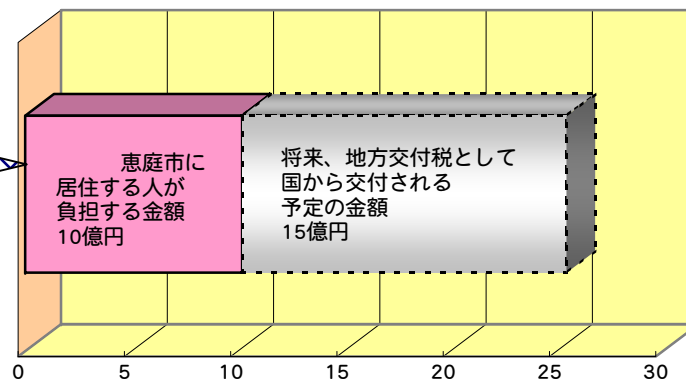
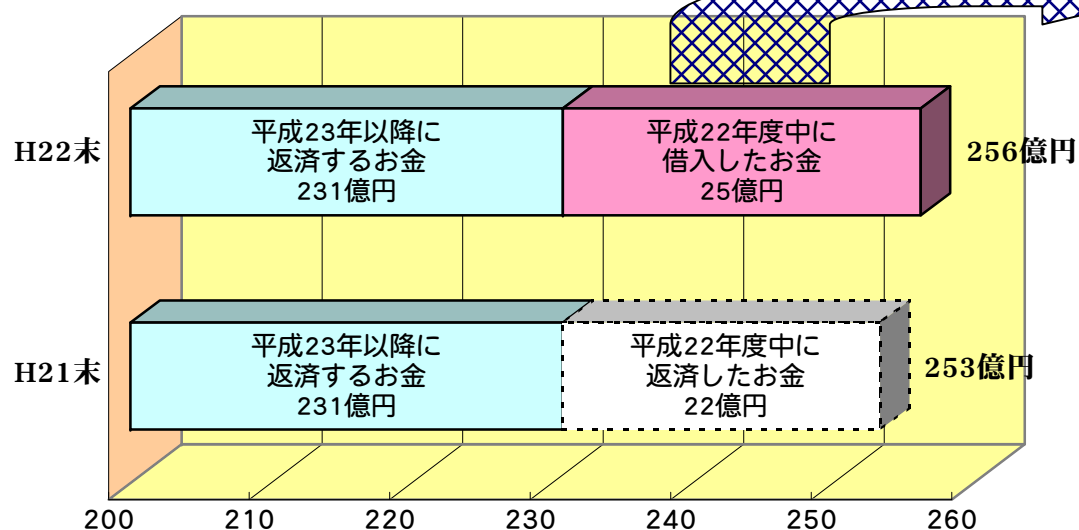
花子さんの
 ひとこと解説

行政の仕事は市民サービスの向上だから、貯金が多いことがいいまちというわけでもないのね。貯金はあるけど市民ニーズが実現しない、これでいいまちとは言えないわね。
 でも貯金は災害への備えや、これからのまちづくりには貴重なお金だから、残高や用途を知っておくことも大切なことね。

6. 借金についての不思議

Q6-1. 借金はどれくらいあって昨年より増えたの？

○ 恵庭市地方債現在高年度間比較

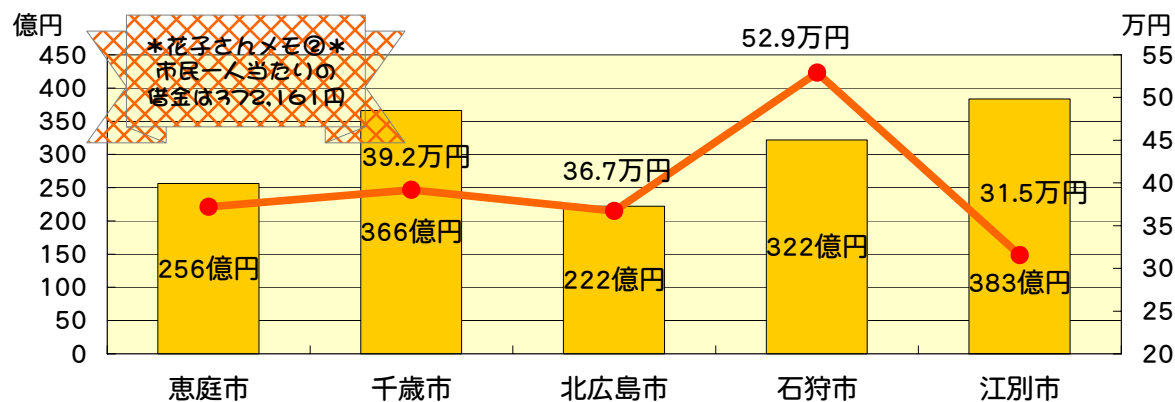


借金には悪いイメージが付きまとうわね。でも、借入して整備した公共施設は、将来の市民も利用するのよ。だから、今いる市民だけでなく、将来の市民も公平に負担してもらうために、借入しながら公共施設の整備を進めているのよ。

グラフだけでは、借金が多すぎるのか、どうなのかわからないわね。次のページで、まちの財政の健全度や危険度がどのくらいなのか、指標にしてあらわすね。

6-2. ほかのまちより借金が少ないの？

○ 近隣市の地方債残高・市民一人当たり残高比較



■ 地方債現在高 (千円) ● 人口一人当たり地方債現在高

7. 恵庭市の台所事情についての不思議 (1)



Q7-1. この先、恵庭市は大丈夫なの？

とっても良い質問ね。
平成21年度決算から国が、まちの財政の健全度や危険度がどのくらいなのか、住民に理解していただくために4つの指標の公表を義務付けたのよ。
指標からは、収支の赤字度合いや、借金負担の危険度が分かってくるの。
では、えにわの4指標を見てみましょう。

○財政健全化判断比率

①国が示す財政状況の健全度（危険度）の基準

		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	説明
国が示した基準	早期健全化基準	12.88	17.88	25.0	350.0	この基準を超えると、財政状況が悪化したとみなされ、自主的な改善努力による財政健全化を図らなければなりません。
	財政再生基準	20.00	35.00	35.0		この基準を超えると、財政状況が極端に悪化したとみなされ、国などの関与により確実な再生を図らなければなりません。

②恵庭市の財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	備考
平成22年度決算	— (※)	— (※)	11.8	95.3	(※) 実質赤字比率、連結実質赤字比率は、黒字決算の場合「—」表示になります。



言葉や文字だけでは何がなんだかわからないわん。
もっと簡単に詳しく教えてほしいわん。

財政用語MEMO

実質赤字比率

一般会計等の実質赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合にあるかを示した指標

連結実質赤字比率

一般会計以外の特別会計や企業会計を含めた、恵庭市の全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示した指標

実質公債費比率

一般会計等が負担する長期借入金の返済やそれに準ずる支出が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるかを示した指標

将来負担比率

一般会計等が抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標

※参考※ 平成21年度決算において、早期健全化団体に指定されているのは、北海道では、江差町、由仁町、中頓別町、洞爺湖町、財政再生団体に指定されているのは、夕張市。

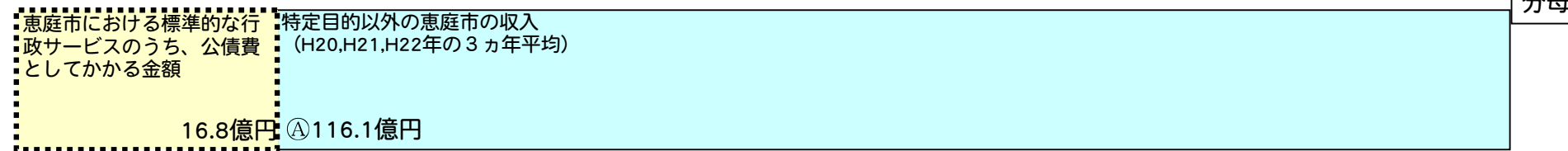
7. 恵庭市の台所事情についての不思議 (2)

※花子さんの
ひとこと解説

簡単に言うと、1年の税金などの収入に対する返済額の割合ね。
この割合が大きければ、過去にした借金の返済にしばられて、他の事業を行うことができなくなってしまうのね。

Q7-2. 実質公債費比率って何を意味しているの？

※下記の状況はH20、H21、H22の3カ年平均です



恵庭市が1年間に標準的な行政サービスを行うために必要な金額 132.9億円

実質公債費比率の状況	公債費及び公債費に準じる支払額		充当可能財源		差引 実質公債費 ⑤ (①-②)	分母 ⑥
	①	構成比	② (③+④)	公債費のために充てた特定収入③		
公債費として1年間に支払っている金額	37.1 億円	100.0%	23.3 億円	6.5 億円	13.8 億円	116.1 億円
元利償還金	26.8 億円	72.4%	16.0 億円	4.5 億円	10.8 億円	
下水道会計に係る元利償還金	7.2 億円	19.4%	7.2 億円	2.0 億円	0.0 億円	
内数 債務負担行為(分割償還)に係る金額	3.0 億円	8.0%	0.1 億円		2.9 億円	
その他	0.1 億円	0.2%			0.1 億円	

7. 恵庭市の台所事情についての不思議 (3)

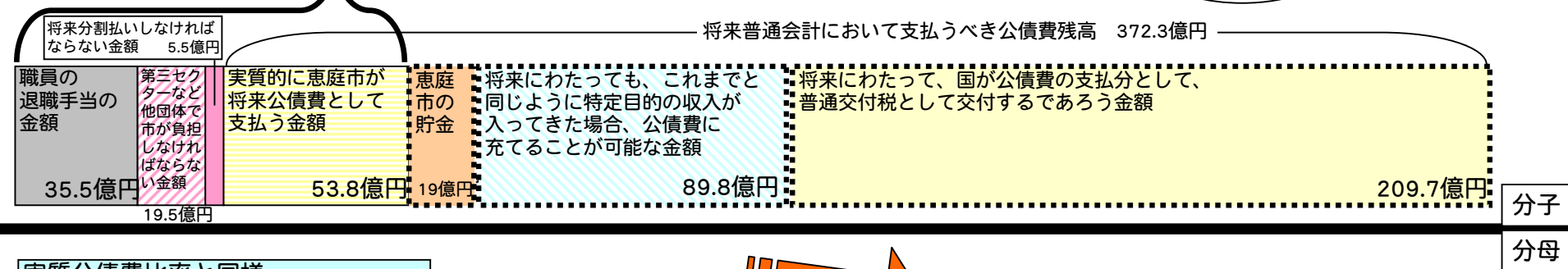
花子さんの
ひとこと解説

将来支払わなければならない借金が、恵庭市の1年の収入と同じぐらいあるということなのね。例えば、除雪をしない、住民票を発行しないなどであれば、1年間で借金が返済できるかもしれないけど、現実的じゃないわね。

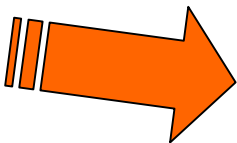


Q7-3. 将来負担比率って何を意味しているの？

将来支払わなければならない借金などの金額
① 114.3億円



実質公債費比率と同様、
特定目的以外の恵庭市の収入
② 120.0億円



$$\frac{\text{① } 114.3 \text{ 億円}}{\text{② } 120.0 \text{ 億円}} = 95.3\%$$

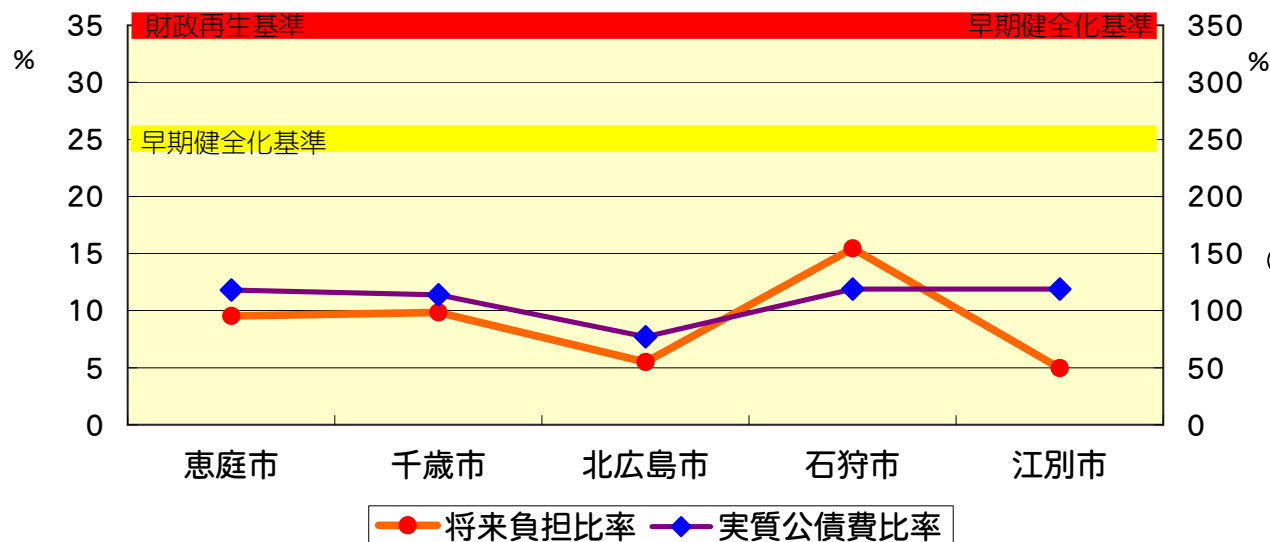
恵庭市が1年間に標準的な行政サービスを行うために必要な金額 137.0億円

将来負担比率の状況	公債費及び公債費に準じる支払額		充当可能財源				差引 実質公債費 ⑥ (①-②)	分母 ⑦
	①	構成比	② ((③+④+⑤))	恵庭市の貯金 ③	公債費に充てる 見込みの特定収入④	公債費支払分として 今後算入の交付税額⑤		
将来負担する実質的な借金	432.8 億円	100.0%	318.5 億円	19.0 億円	89.8 億円	209.7 億円	114.3 億円	120.0 億円
内数								
年度末地方債残高 (下水道含む)	372.3 億円	86.0%	318.5 億円	19.0 億円	89.8 億円	209.7 億円	53.8 億円	
職員の退職手当の金額	35.5 億円	8.2%	0.0 億円	0.0 億円	0.0 億円	0.0 億円	35.5 億円	
第三セクターなど 実質市が負担する金額	19.5 億円	4.5%	0.0 億円	0.0 億円	0.0 億円	0.0 億円	19.5 億円	
将来分割払いをする金額	5.5 億円	1.3%	0.0 億円	0.0 億円	0.0 億円	0.0 億円	5.5 億円	

7. 恵庭市の台所事情についての不思議 (4)

Q7-4. ほかのまちはどうなの？

○実質公債費比率と将来負担比率の管内他市の状況



札幌近郊の石狩管内では、真ん中ぐらいの健全度なんだわん。

それでも、1年間の収入と同じぐらいの借金があるのも事実。
 また、この先人口が増えるかどうかわからないよね。
 現に、生産年齢人口（15歳～65歳未満）は減っていているのよ。
 生産年齢人口が減るということは、市民税が減る可能性がそれだけ高くなって、収入が減っていく可能性があるわ。
 だから、恵庭市では建設事業に充てる借金を1年に10億円程度としているのよ。
 今後も無計画な財政運営をしない限り財政の健全度は保てるだろうし、市民の方も、こうした指標をチェックすることも大切なのよね。
 この他、まちの財政の「力」を知る指数もあって、恵庭市は全道的には良い方だけど、全国では中位より少し下くらいだから、安心してはいけないのね。



恵庭市の生産年齢人口と実質公債費比率と将来負担比率の推移

	年度末 生産年齢人口	実質公債費 比率	将来負担 比率
H20決算	44,957人	12.0%	101.8%
H21決算	44,772人	12.1%	101.3%
H22決算	44,691人	11.8%	95.3%

平成22年度主な仕事の内容



平成22年度予算（案）とともに情報公開を行った事業を中心に、
第4期恵庭市総合計画施策体系に沿って掲載しております。

基本
目標
04

04 水と緑に彩られた生活空間があるまちをめざします

街区公園外柵石設置事業（土木課）

835万円

財源：国補助金418万円 地方債310万円 一般財源107万円

さくら、けいほく、かしわぎ、くさぶえ、やよい、ことぶき公園の外柵を、耐候性・耐久性に優れ、維持管理費も安価な野面石に更新しました。

基本
目標
06

06 自然と共生する環境保全活動に取り組みます

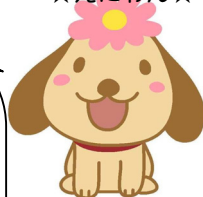
地域新エネルギー重点ビジョン策定事業（環境課）

318万円

財源：諸収入（NEDO補助金）318万円

新エネルギーの体系的・計画的な導入及び省エネルギー対策の実施を促進し、国の地球温暖化対策やエネルギー政策に地域レベルから積極的に貢献するとともに、本市に豊富に存在しているバイオマスエネルギーの将来的な活用を目指すための、ビジョンを策定しました。

移住促進キャラクター
☆えにわん☆



財源ってなんだわん？

国補助金は、国からその事業のために使うように決められたお金だよ。
地方債は、その事業を実施するために、市が借りたお金なんだ。
基金繰入は、市の貯金をおろしたお金だよ。
一般財源は、その年に市民のみなさんから納めていただいた税金などなんだ。



ふるさと納税推進キャラクター
☆えにわ花子さん☆

基本
目標
08

08 市民のライフスタイルなどに応じた健康づくりを推進します

子宮頸がん等ワクチン接種事業（保健課）

2,180万円

財源：道補助金1,063万円 一般財源1,117万円

平成22年1月よりヒトパピローマウィルス（HPV）、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、肺炎球菌の感染によって起こる疾病を予防することを目的に、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種事業を実施しました。

区分	子宮頸がん予防	ヒブ	小児用肺炎球菌
22年度	577件	769件	792件

基本
目標
09

09 安心して医療が受けられる環境を整備します

夜間診療所運営費（保健課）

6,762万円

財源：使用料等2,306万円 一般財源4,456万円

市民が安心して医療が受けられるよう、医療の空白時間解消のため、休日及び夜間などの救急医療体制を整え、1次救急医療機関として運営を行いました。なお、平成21年度は、新型インフルエンザの流行により患者数が多くなっています。

区分	休日診療		夜間診療		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
22年度	26	733	359	2,265	2,998
21年度	30	1,145	359	2,332	3,477
比較	△4	△412	0	△67	△479

基本
目標
10

10 地域福祉活動の活性化をめざします

社会福祉協議会運営費補助金（福祉課）

2,894万円

財源：一般財源2,894万円

地域福祉活動の中核的役割を担う社会福祉協議会の運営に係る経費を助成し、福祉行政の振興を図りました。

11 地域におけるさまざまな子育て支援サービスを充実します

子育て支援センター事業（子ども家庭課） 2,355万円

財源：国補助金1,174万円 一般財源1,181万円

子育て支援の地区拠点として、自由に参加できる親子の交流の場を柏陽・恵み野・島松3カ所に設置し、子育てについての家庭対策や相談・情報提供など各種支援に努めました。

相談項目	件数	年齢等	利用者数	うちプレイセンター利用者数	サンデーパパ
しつけ（基本的生活習慣）	190	保護者	13,799	5,632	144
発達（言語、情緒、身体）	351	0歳	3,238	878	25
子どもの対人関係	110	1歳	4,302	1,058	37
親子・家庭関係	160	2歳	4,045	1,823	34
問 合 せ	479	3歳以上	3,235	1,753	54
合 計	1,290	合計	28,619	11,144	294

ファミリーサポートセンター事業（子ども家庭課） 369万円

財源：国補助金184万円 一般財源185万円

仕事と育児の両立を支援するため、育児サービスを受けたい依頼会員と育児サービスを提供できる協力会員による有償の相互援助制度を利用しやすくするよう、環境整備に努めました。なお、平成22年度より病後児預かりができる体制づくりを行いました。

ファミリーサポートセンター会員数

依頼会員 553人 協力会員 88人 両方会員 89人 合計 730人

援助内容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	52
学童保育の送迎、預かり等	90
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	133
保護者等の短時間・臨時就労による預かり等	25
子どもの習い事等の場合の援助	208
その他	37
合 計	545

花子さんメモ

年度	出生数	年齢	人口
H21	553	0歳	565
H20	576	1歳	590
H19	622	2歳	589
H18	569	3歳	649
H17	574	4歳	641

H23.3.31
現在

11 地域におけるさまざまな子育て支援サービスを充実します

(仮) 黄金地区複合施設整備事業（施設課） 1,401万円

財源：地方債990万円 一般財源411万円

人口が急増する黄金地区において、地区会館、地区子どもセンター及び憩の家などの機能を備えた施設の基本構想策定及び実施設計を行いました。

緊急一時保育事業（保育課） 207万円

財源：国補助金19万円 保護者負担金等46万円 一般財源142万円

保護者の急な仕事や病気等により、一時的に家庭での保育が困難となった場合や、保護者の育児不安の解消のため、児童の保育を行いました。なお、平成22年度より保育時間の拡大などを行いました。

対象児	1歳～就学前児童	定員	8人
保育時間	7時15分～18時15分		
場所	すみれ保育園	利用実人数	287人
延利用人数	1,222人	利用日数	278日

なのはな保育園建替事業（保育課） 2億7,312万円

財源：国補助金9,269万円 地方債1億4,280万円 調整交付金140万円 一般財源3,623万円

老朽化の著しいなのはな保育園を建替えました。建設場所は島松本町4丁目10となり、供用開始は平成23年10月となります。



1 2 子どもや支援を要する家庭への取り組みを充実します

乳幼児等紙おむつ用ごみ袋支給事業

683万円

財源：一般財源683万円

「家庭ごみ」の有料化に伴い、①子育て支援施策②高齢者施策③障がい者施策として、指定ごみ袋を一定枚数無償で交付しました。

対 象 者	配布枚数	担 当 課
①2歳児未満	143,500	子ども家庭課
②65歳以上の寝たきり高齢者等	3,700	介護福祉課
③障害者自立支援法の排泄管理支援者用具使用者	3,800	障がい福祉課

1 6 総合的な介護予防対策を推進します

高齢者世帯等冬期除雪サービス事業（介護福祉課）

834万円

財源：国補助金248万円 一般財源586万円

自分で除雪することが困難な65歳以上ひとり暮らし高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対し、自宅玄関から公道までの概ね1メートル幅を除雪し、生活路を確保しました。

主な福祉サービス事業名	利用者数	年間利用（日・回）数
除雪サービス事業	407世帯	6,375回出動
生きがい活動支援通所事業	4人	107回
配食サービス事業	197人	30,647食
外出支援サービス事業	77人	1,301回
訪問理容サービス事業	12人	34回

2 0 子どもの個性を伸ばし育む教育環境を充実します

スクールバス管理事業（教育総務課）

2,896万円

財源：一般財源2,896万円

遠距離通学の低学年児童や特別支援学級（肢体）に通う児童・生徒の安全に配慮し、スクールバスを運行して通学を支援しました。なお、平成22年度よりあらたに介護ワゴン車を増車し、合計7台での運行を行いました。

特別支援教育事業（教育指導課）

1,598万円

財源：一般財源1,598万円

通常学級に在籍し、授業に困難をしめず児童生徒に対し、「ひとりひとりの教育的ニーズ」を把握し、生活や学習上の困難を改善克服するための支援を行いました。

学校の 支援体制	校内支援委員会	全小中学校13校に配置
	特別支援教育コーディネーター	13校に20名を指名
巡回 相談体制	特別支援教育推進 サポートチーム	専門家委員3名 巡回相談員2名 巡回協力員10名
学校補助員 配置状況	小学校8校	補助員13名
	中学校5校	補助員5名

小・中学校耐震化事業（施設課）

2,914万円

財源：国補助金1,457万円 地方債1,300万円 繰入金157万円

児童・生徒の安全・安心な教育環境の整備を図るため、小中学校の耐震改修設計を行いました。場所は、恵庭小学校（校舎）、和光小学校（校舎）、恵庭中学校（校舎・講堂）、恵北中学校（校舎・講堂）です。本工事は、平成23年度に実施しています。

和光小学校増築事業（施設課）

4億7,573万円

財源：国補助金1億6,809万円 地方債2億5,160万円 一般財源5,604万円

和光小学校地区の児童数増加により、不足する教室等を増築し、子どもたちの適正な学習環境の保持を図りました。

2 2 いつでも・どこでも・だれでも学習できる環境づくりを進めます

青少年研修センター事業（社会教育課） 2,155万円

財源：使用料1,091万円 繰入金124万円 一般財源940万円

青少年を対象とした体験学習、宿泊研修事業のほか、各種団体の宿泊研修、レクレーション及び野外活動のための施設等の提供並びにこれらの活動に係る指導助言を行いました。

利用 状況	開設日数	延利用 人数	日平均 利用人数	主催事業	
				開催回数	参加人数
22年度	330	9,613	29	13回	延601人
21年度	331	9,579	28		
比較	△1	34	1	えにわ 通学合宿	市内3小学校 4～6年生 34人 支援者196人 延785人参加

2 3 生涯各期にわたる読書環境を充実します

図書館運営及び省エネ改修費（図書課） 2億9,452万円

財源：国補助金363万円道補助金2,267万円一般財源2億6,822万円【うち人件費8,434万円公債費1億25万円】

各年代で、誰もが等しく読書活動を親しむことができるよう、総合的、体系的に読書環境の整備充実に努めました。開館日数は290日でした。

小中学校図書館蔵書整備事業（図書課） 1,103万円

財源：寄附金32万円 一般財源1,071万円

読書習慣の形成を推進し、読書活動の継続を図るため、読書環境の整備を進めました。

区 分	小学校				中学校			
	貸出冊数	一人当 貸出冊数	蔵書冊数	一人当 蔵書冊数	貸出冊数	一人当 貸出冊数	蔵書冊数	一人当 蔵書冊数
22年度	258,836	64.1	81,547	20.2	38,077	17.8	46,122	21.5
21年度	235,903	57.1	78,316	19.0	32,685	15.1	42,354	19.6
比較	22,933	7.0	3,231	1.2	5,392	2.7	3,768	1.9

2 3 生涯各期にわたる読書環境を充実します

蔵書冊数の現況

区 分	一般書	児童書	雑誌	合計
本 館	151,783	36,912	12,140	200,835
恵 庭	33,451	15,272	1,168	49,891
島 松	22,997	8,332	824	32,153
合 計	208,231	60,516	14,132	282,879

*児童書には、絵本や紙芝居も含まれています。

個人貸出状況

区 分	一般書	児童書	雑誌	合計	利用状況	
					利用者数	一日当貸出冊数
本 館	260,451	119,788	26,501	406,740	80,555	1,412
恵 庭	77,752	48,144	4,951	130,847	26,875	454
島 松	43,155	16,924	3,291	63,370	13,574	220
合 計	381,358	184,856	34,743	600,957	121,004	2,087

団体貸出状況

区 分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数	レファレンス状況	インターネット予約
				件数	件数
本 館	439	77	13,525	9,361	16,870
恵 庭		8	831	3,944	
島 松		4	462	5,864	
合 計		89	14,818	19,169	

予約リクエストサービスの状況

区 分	所蔵資料の 受付件数	未所蔵							
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学	計
本 館	7,149	618	167	152	186	22	29	0	1,174
恵 庭	3,173	237	66	66	67	2	1	0	439
島 松	5,179	322	21	11	23	2	0	0	379
合 計	15,501	1,177	254	229	276	26	30	0	1,992

2 4 個性豊かな資質の高い芸術文化を築いていきます

夢創館運営及び整備事業（社会教育課）

880万円

財源：使用料114万円 繰入金270万円 一般財源496万円

島松軟石によって建造された文化遺産である夢創館で、市民主体の自主的な文化活動を支援するとともに、各文化団体と連携し事業を実施しました。

会館日数	利用日数	利用団体数	利用人数
360日	170日	207団体	8,342人

2 5 カリンバ遺跡などの文化財を保護し活用します

史跡カリンバ遺跡整備事業（郷土資料館）

330万円

財源：国庫補助金165万円 一般財源165万円

重要文化財等に指定されている出土遺物である漆塗り装身具類13点の保存修理を行い、保存箱5箱を製作しました。

2 6 さまざまなスポーツに誰もが参加できる環境づくりを進めます

スポーツ振興基本計画策定・関連調査事業（スポーツ課）

303万円

財源：一般財源303万円

市民の誰もが生涯にわたってそれぞれの体力や目的に応じてスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、「恵庭市スポーツ振興基本計画」を策定しました。

2 8 都市の中心としての恵庭駅周辺整備を進めます

恵庭駅西口周辺整備事業（地域整備室）

4,391万円

財源：地方債3,480万円 一般財源911万円

土地区画整理事業は、事業の推進を目的とした用地の先行買収を行いました。また、市街地再開発事業は、商業・業務機能の集約による賑わい創出を目指し、再開発推進計画の策定、権利者調整を行いました。

3 0 ユニバーサルデザインのまちをめざします

島松駅周辺再整備基礎調査事業（地域整備室）

293万円

財源：一般財源293万円

ユニバーサルデザインの考え方に立ち歩行者ネットワークの形成や障がい者・高齢者をはじめ、すべての歩行者の利便性・安全性のため、島松地区周辺再整備に向けた基礎資料として、計画条件の整理、住民意識調査等を実施しました。

バリアフリー特定道路整備事業（土木課）

1億338万円

財源：国補助金5,784万円 地方債4,410万円 一般財源144万円

ユニバーサルデザインの考え方に立ち歩行者ネットワークの形成や障がい者・高齢者をはじめ、すべての歩行者の利便性・安全性のため、恵庭駅前地区の柏木戸機線のバリアフリー化事業を実施しました。

生活道路整備事業（土木・建設管理課）

4億4,793万円

財源：国補助金786万円 調整交付金1億8,501万円 地方債2億3,440万円 一般財源2,066万円

都市の骨格となる幹線道路の整備により市街地の一体化を進めるとともに、道路改良や維持修繕、歩道の整備により、安全な交通の確保と沿道の環境整備を進めました。

恵庭市管理道路の状況

区分	実延長 (m)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)	防塵延長 (m)	砂利敷 (㎡)	路面清掃 (m)	雨水樹清掃 (箇所数)
22年度	528,476	370,729	70.2	27,877	194	352,074	6,699
21年度	528,434	367,477	69.5	23,418	162	348,585	7,102
比較	42	3,252	0.7	4,459	32	3,489	△ 403

3 2 冬も移動がしやすい環境づくりを進めます

道路除排雪対策事業（建設管理課）

3億1,206万円

財源：国補助金2,340万円 調整交付金1,267万円 一般財源2億7,599万円

7cm以上の降雪があり、車両等の通行に影響がある場合に、市道や一部の私道及び歩道などの除雪を行いました。冬季においても安全で移動しやすい生活環境の確保を図りました。

区分	延長 (km)				出勤日数	
	直営	委託	歩道	計	直営	委託
22年度	145.8	377.6	170.4	693.8	26.0	16.5
21年度	170.6	354.8	169.5	694.9	37.0	14.8
比較	△ 24.8	22.8	0.9	△ 1.1	△ 11.0	1.7

(単位：cm)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間降雪量	653	409	395	506	506

参考	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
恵庭島松最深積雪	81	102	70	84	93
札幌最深積雪	78	106	76	79	92

3 4 エコバスなど市内公共交通のネットワークを充実します

エコバスなどの事業運営（交通生活課）

2,688万円

財源：道補助金30万円 使用料21万円 一般財源2,637万円

エコバス及び代替バス路線の充実及び安定的運営を図りました。（11月末まで）

路線	便数		乗車人員	一日平均乗車数	一便平均乗車数	運賃・回数券収入(円)
	()は土・日・祝日					
恵庭西線	17便	(12便)	35,774	146.6	9.5	5,456,750
恵庭東線	17便	(12便)	37,843	155.1	10.1	5,383,000
恵庭島松線	16便	(12便)	32,258	132.2	9	4,792,550
エコバス合計	50便	(36便)	105,875	433.9	9.5	15,632,300
代替バス	4便	(4便)	1,462	7.3	1.8	206,200

3 4 エコバスなど市内公共交通のネットワークを充実します

市内公共交通事業（交通生活課）

3,148万円

財源：国補助金974万円 地方債930万円 一般財源1,244万円

国土交通省の「地域公共交通活性化再生総合事業」を活用し、新交通システムの構築に向けたエコバスの路線再編、乗合タクシーの実証運行を平成22年12月より実施しました。また、それにあわせコミュニティバスを1台増車しました。

路線	便数		乗車人員	一日平均乗車数	一便平均乗車数	運賃・回数券定期券収入(円)
	()は土・日・祝日					
A・Bコース	34便	(12便)	95,762	791.4	29.6	14,664,143

駐車場・駐輪場整備事業（交通生活課）

5,242万円

財源：地方債5,200万円 一般財源42万円

恵庭駅西口駐車場の一部整備を実施しました。平成23年度に未整備部分の整備を完了する予定です。

駐車場・駐輪場運営費（交通生活課）

2,074万円

財源：使用料1,888万円 一般財源186万円【うち公債費202万円】

市民駐車場の計画的な整備と有料化を進めるとともに、自転車の利用の促進と駐車場の利用マナーの向上を推進しました。

駐車場名	整備年度	収容台数	駐車件数(台)	使用料(円)	駐輪場名	収容台数	平均駐輪台数
恵庭駅東口	H19	102	19,040	7,488,700	恵庭駅東口	334	373
恵庭駅西口	H22	42	5,197	1,574,100	恵庭駅西口	601	737
恵み野駅東口	H19	125	15,867	4,341,200	恵み野駅東口	738	630
恵み野跨線橋下東	H20	67	10,371	4,086,300	恵み野駅西口	400	219
恵み野跨線橋下西	H20	73	8,499	2,226,700	島松駅	350	409
島松駅横	H19	109	13,913	4,319,900	※恵庭駅西口 暫定整備台数980台		
合計			72,887	24,036,900			

37 ごみ処理施設を整備しごみを適正に処理します

ごみ処理経費（廃棄物対策課）

7億8,161万円

財源：手数料ほか3億2,897万円 一般財源4億5,264万円

事業費内訳 【処理経費5億4,543万円 人件費9,413万円 公債費1億4,205万円】

市内から発生する廃棄物で、市が収集する一般廃棄物の収集・埋立処理と事業者が排出する事業系一般廃棄物及び産業廃棄物をごみ処理場にて埋立処理しました。

生ごみ資源化処理施設建設事業（廃棄物対策課）

1億2,011万円

財源：国補助金5,367万円 地方債5,940万円 一般財源704万円

可燃ごみ埋立量を減らすことにより温室効果ガスの発生を抑制するため、下水終末処理場を活用してバイオガス化し、エネルギー資源として有効活用するため、必要な前処理施設の実施設設計及び整備工事を行いました。

年度別収集量

区分	収集内訳（単位:t）					一人一日平均排出量 （市収集分:単位g）
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	資源物	合計	
18年度	10,688	2,784	1,864	1,941	17,277	696
19年度	10,418	1,609	1,077	3,209	16,313	652
20年度	10,337	1,551	1,038	3,233	16,159	646
21年度	10,191	2,155	1,442	3,128	16,916	675
22年度	8,735	1,012	678	2,931	13,356	531

年度別処理量

（単位：t）

区分	埋立処理	資源化	合計量
18年度	27,773	2,740	30,513
19年度	23,809	3,914	27,723
20年度	22,929	3,904	26,833
21年度	25,524	3,362	28,886
22年度	21,246	3,067	24,313

39 市民の防災意識を高めます

耐震診断改修補助事業（建築課）

36万円

財源：国補助金33万円 一般財源3万円

耐震改修促進計画に基づき、地震による住宅・建築物の安全性の向上に関する啓発等を行うとともに、戸建住宅の耐震化促進を図るため、耐震診断経費の一部を補助するとともに、耐震改修についても一部助成を行いました。

耐震診断助成	3件	耐震改修助成	1件
--------	----	--------	----

45 恵庭墓園の整備を進めます

第4 墓園整備事業（環境課）

1億291万円

財源：地方債1億290万円 一般財源1万円

周辺環境や景観に配慮した恵庭墓園整備に努めるとともに、将来の墓園需要に対応するため、用地取得等を行いました。

特定防衛施設周辺整備調整交付金ってなんだわん？



自衛隊等の行為により、生活環境または開発に及ぼす影響の緩和を目的として交付される国からの交付金だよ。



花子さんメモ

平成22年度に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業一覧

事業名称	事業費	調整交付金	一般財源
保育園外構・遊具整備事業	143万円	140万円	3万円
ごみ処理場埋立作業用重機整備事業	1,251万円	1,180万円	71万円
道路改良舗装事業	1億9,140万円	1億8,501万円	639万円
除雪用車両整備事業	1,391万円	1,267万円	124万円
空気呼吸器等整備事業	782万円	738万円	44万円
シルバー人材センター改修事業	2,410万円	2,180万円	230万円
パソコン教室用機器整備事業（2校）	2,398万円	2,210万円	188万円
合計	2億7,515万円	2億6,216万円	1,299万円

4 9 地域産業の活性化と企業誘致を強化します

企業誘致パンフレット作製事業（企業立地推進室） 100万円

財源：一般財源100万円

企業誘致を推進強化し、雇用の場の創出をめざすため、企業誘致パンフレットの刷新を図りました。

5 1 都市と農村の交流により地域農業の活性化を推進します

西島松北地区地域振興事業（地域整備室） 5億6,378万円

財源：国補助金3億1,701万円 地方債1億8,190万円 一般財源6,487万円

市民の公募により、公園の名称を「ルルマップ自然公園ふれらんど」に決定しました。公園整備工事に着手し、パークゴルフ場、多目的広場、農園広場の施工が完了しました。また、管理棟や歩道の実施設計及び用地買収・移転補償を行いました。

優良田園住宅整備事業（地域整備室） 509万円

財源：財産収入509万円

恵庭の田園環境と調和のとれたガーデニング住宅の建設を通し、景観整備、地域経済の振興など多くの関連分野への波及を目指し、用地確定測量、既存物件の解体・撤去を行い、公募提案型により土地を売却しました。

5 2 地域に根ざした商店街づくりを進めます

消費者意識調査等事業（商業労政課） 397万円

財源：道補助金200万円 一般財源197万円

消費者の意識や消費動向の実態を把握するために消費者意識調査を実施するとともに、座談会やシンポジウムを開催することで事業者や消費者の意見を踏まえた商店街の活性化に向けた取り組みを推進しました。

消費者意識調査	調査規模2,500人	回収率43.5%	市民座談会等へ延106名参加
---------	------------	----------	----------------

5 2 地域に根ざした商店街づくりを進めます

創業実践講座事業（商業労政課） 7万円

財源：一般財源7万円

創業時及び創業後の経営安定化に必要なノウハウを習得するための研修会を、恵庭市で開催し、13名の参加者へ受講料を助成しました。

商工会議所運営費補助金（商業労政課） 3,466万円

財源：一般財源3,466万円

商工会議所としての市内中小企業の経営支援及び地域における商工業の改善発展や中小企業相談所における金融指導や労務取引、経営改善等の相談業務等に係わる職員の人件費の一部を助成しました。

恵庭市花の田園住宅 プレストガーデン恵庭



基本
目標
5 6

5 6 相互理解と協働の行政システムづくりを進めます

市民の広場事業（広報広聴課） 1万円

財源：一般財源1万円

『市民が参加できるまちづくり』を進め、様々な意見を取り入れることにより、より良いまちづくりを行うため、市長と市民が直接対話する「市民の広場」を開催しました。

市民の広場	5回開催	参加者123人	意見・要望130件
-------	------	---------	-----------

基本
目標
6 0

6 0 地方分権時代に即した行政組織づくりを進めます

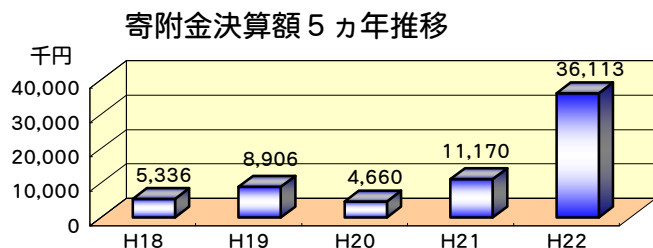
戸籍事務電算化事業（市民課） 0万円

財源：一般財源0万円

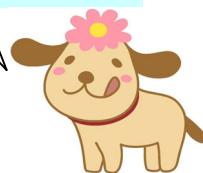
電算化により戸籍を長期間にわたり安全に管理していく体制を整えるため、戸籍と住民基本台帳データを連携する環境整備を行いました。電算化は、平成23年度完了し、7年分割により償還する予定です。

番外編①

市に寄附してくれる人はどれくらいいるんだわん？



平成20年度からふるさと納税（寄付金税額控除）制度がスタートしたよ。恵庭市では、寄附して下さった方の思いに応えられるよう使ってほしい事業を選べるようにしたり、工夫しているよ。これからも皆さん応援よろしくおねがいします。



基本
目標
他

他 総合計画施策体系外の事業・経費

市制施行40周年事業（総務課） 290万円

財源：諸収入100万円 一般財源190万円

平成22年11月1日に、恵庭市が市制施行40周年を迎えました。恵庭市の更なる発展を願い、記念事業や記念リーフレットの作成を行いました。

総合計画後期基本計画策定事業（企画課） 274万円

財源：一般財源274万円

第4期恵庭市総合計画の後期5カ年計画が平成23年度より始まることから、審議会を開催し、後期基本計画を策定しました。

番外編②

税金の徴収率はどれくらいなんだわん？



平成22年度主な税目	現年度	過年度
個人市民税	97.6%	15.8%
法人市民税	98.3%	17.7%
固定資産税	97.9%	13.5%
軽自動車税	97.5%	21.3%

恵庭市では、市民の皆さんに公平に税金を負担していただけるように、財産の差押や、差押財産の公売などを積極的に行っているんだけど、100%にはなっていないのが現実なのね。公共サービスを提供するために必要なお金が入ってこないことはもちろん、皆さんに公平に負担していただくために、経費もかかってしまうことになるのね。



市税徴収事務費（納税課） 8,724万円

財源：一般財源3,043万円+人件費5,681万円